

卒業おめでとう。私はね、中学3年間を/年生は挑戦、2年生は飛躍、3年生は感謝という3年ワニセツでテーマを設定してます。皆さんも次の進学先でね、自分なりのテーマを設定(途中変更OK!)してみるといいかも。今後、色々な選択で迷った時は、

自問自答

最終号

令和6年3月1日(金)

広島市立己斐上中学校 進路通信

発行人: できそうか、できなさそうか、じゃなくね、
わくわくするか? 何のために? を自問自答してごらん。
すると、次の一手が見えてくるから ... の



「恩送り」という生き方

皆さん、今回は最後の自問自答です。皆さんには素敵な人生を送ってもらいたい、と心からそう願っています。

ではどうやったら素敵な人生、楽しくてわくわくする人生を送れるんでしょうね。100人いたら100通り、それぞれの答えがあると思います。というわけで今回は私が52年かけて導き出した(笑)私なりの解答を書いて、自問自答の最終回にしたいと思います。しかもそれは今日から、誰にでもできる、とても簡単な方法ではないかと。それは「恩送り」という生き方。

さすがに皆さんの歳になれば、自分がたった一人、自分自身だけの力で生きている(生かされている)と思ってはおろまい。あなたが住んでいる家は誰が建てた? 着ている服は誰が作った? 毎日食べているご飯は誰が作ってる? 自分でも作るって? じゃあ、その食材や調理器具はどこで誰が作ってる? etc,,

って考えたら、あなた一人が生きるために何十、何百人どころじゃないな、何百万人(もっとか?)もの人が関わっているんだねえ(@_@;)!! こういうときの美しい日本語として「おかげさまで」ってあるんだねえ。

そこでお世話になっている方々に、直接、その恩を返していくのは難しいから、受けた恩を他の誰かに別の形で返していく、一般的にはこれを「恩返し」って言うんだけど、他の誰かに恩を送っていき、送られた人がまた別のの人に別の形で送って,,,っていうリレーみたいにつないでいくイメージで、「恩送り」って言った方が何かしっくりくるなあって個人的には思います。

そんな感じで、ホントにちょっとした形でいいと思うのよ。周りの人たちにあなたが受けた(受けている)恩を別の形で送っていく人生を歩むと、きっとほんわか、わくわく、素敵な人生になるんじゃないかなあって思います。まっ、平たく言えば他人に親切にするっちゅうことだな。どんな些細なことでも OK。これなら今日からできるっしょ。

私は(さすがにこの歳になると、また、以前書いたエジプトで会った長谷川さんのことや、2月に急逝した母親のことなどもあり、残りの人生の生き方・時間の使い方を考えるようになる。君らも50歳を超えたあたりからきつとそうなる。あ〜、増尾が言ったのはこれかあって笑)20代の頃から散々旅をしてきたので、旅先で、これでもかってぐらい恩を受けており、送らなきゃいけない恩が相当たまってる(笑)。しかも世界中に。で、考えた。

今、日本には外国籍の人たち(児童・生徒たちも)がすごく増えている。これから先、増えることはあっても減ることはないだろう。異国の地で暮らす人々にとって「言語」の壁はかなり厚い。そこで日本語支援という形で恩を送っていただけらなあって思って日本語教師の資格を取ったわけ。実際日本語の支援をしていくのが何年先になるかわからんけど、残りの人生の時間の使い方としては悪くないなと思うし、新しいことに挑戦するって考えたら何だかとてもわくわくする。これが私の「恩送り」のメインかなあ。ってことで「自問自答」もおしまい! じゃあ、お互い「今を大切に」精一杯、楽しく、わくわく、生きていこうね〜。バイバイ(へ♪